

## 新所長紹介

高見 宇造

(たかみ うぞう)



1959年生まれ。1982年、同志社大学文学部社会福祉学科卒業。1984年天理教校本科卒業。青年会本部委員、社会福祉法人天理理事長、啓発委員会委員長、布教部次長兼社会福祉課長等を歴任。2003年、天理教和爾分教会長就任。2016年4月1日付で天理大学おやさと研究所長に就任。

主な論文に、「天理教校第二専修科における社会福祉学講義」(『天理教社会福祉』1997年)、「宗教社会福祉に関する論文目録(1)(2)(3)」(『同』1997年)「精神障害観の歴史」(『同』1999年)、「心を病むということ」(『同』2001年)、「現代家族の諸相」(『同』2002年)、「宗教と精神障害者ケア」(『同』2004年)、「神一条の精神と福祉活動」(『同』2013年)、「精神障害、精神疾患のおたすけ試論」(『みちのとも』2012年)。

主な著書に、『気づきへの誘い』(共著)天理教啓発委員会(2013年)、『天理教社会福祉の理論と実践』(共著)白馬社(2004年)、『天理教の献血活動』(単著)天理教献血推進委員会(2005年)、『天理養徳院百年史』(単著)社会福祉法人天理(2010年)がある。

### 日本臨床宗教師会設立記念シンポジウムに参加

堀内みどり

標記シンポジウムが2月28日龍谷大学で開催され、澤井治郎所員と参加した。仏教者をはじめ多くの人びとが参集し、天理教で臨床宗教師養成講座を修了された人は教服で参加されていた。

シンポジウムは、日本臨床宗教師会、臨床宗教教育ネットワーク、上智大学グリーンケア研究所、東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座、龍谷大学大学院実践真宗学研究科が主催。「臨床宗教教育の可能性」をテーマとし、第1部では、まず上智大学グリーンケア研究所の高木慶子特任所長が「臨床宗教師が日本で根づく教育」と題して基調講演を行い、宗教者として常に求道者である日々の態度や処し方の重要性を強調。臨床宗教師の活動が、宗教に対する日本社会の不信感を払拭し、新しい宗教改革となる機会となるのではないかと講演した。その後、東北大学、愛知学院大学、高野山大学、種智院大学、上智大学、鶴見大学、武蔵野大学、龍谷大学が、それぞれの大学で行っている、または行おうとしている臨床宗教教育を紹介した。

第2部では、「日本臨床宗教師会設立発表」があり、最初に会長に就任する島蘭進上智大学グリーンケア研究所長が挨拶し、鈴木岩弓東北大学教授が設立までの経緯について説明した。さらに事務局を担当する谷山洋三東北大学准教授が、会の目的を説明した。設立趣意書によると、「困難にあえぐ人びとの悲

しみに寄り添いつづけた宗教者の伝統と臨床経験を尊重し、意を同じくする『臨床宗教師』の養成に取り組む諸大学の研究者、宗教、医療、社会福祉等の専門職、臨床宗教師研修生の有志が集い、相互に研鑽し、『臨床宗教師』に関する倫理綱領の遵守、養成教育・継続教育の支援と連携、実践と教育に関する研究、啓発、資格認定、関係諸機関との連携を推進することをめざす」という。高い倫理意識のもと、各宗教がその枠を超えて協力することが期待されていると感じた。

### 第290回研究報告会(3月28日)

#### ルワンダ訪問報告

森 洋明

「ルワンダの教育を考える会」(理事長:永遠瑠まりルイズ氏)が主催したスタディーツアー(2月23日~3月1日)に参加して出向いたルワンダ共和国の様子を報告した。

ツアーでは同会が支援を続けているウムチョムイーザ学園(幼稚園と小学校)を視察、朝礼や授業の様子を見学し、数年前から始められた給食を試食、教職員との意見交換会を行った。とくにフランス語であった教育言語が英語に変わったことによる影響や学校運営に関する事など、現場で直面するさまざまな問題を見聞きすることができ、私に関わっているコンゴブラザビルでの教育活動にも大変参考になった。

報告ではその他、国を挙げて推進されている「ウムガンダ」(「相互扶助」の意)の一環で奉仕活動に取り組む人々の姿勢、1994年に起きた3カ月で100万人もの犠牲者とも言われるジェノサイドの様子や虐殺を体験した人の談話、またその内戦からの復興の軌跡や国の発展にさまざまな形で寄与する日本人の活動の様子を紹介した。

コンゴ共和国と比べると、ルワンダは同じサハラ以南のアフリカということで文化的に共通する点は多々あるが、一方で社会のあり方や街、人々の様子など相違点も多く、アフリカ地域文化を比較する上で大変興味深い訪問となった。

### 「出前教学講座」申し込み受付

おやさと研究所では教区、教会などの単位で「出前教学講座」の依頼をお受けしています。詳細は、担当者佐藤孝則(tasato@sta.tenri-u.ac.jp)までお問い合わせ下さい。

### 『グローバル天理』 合本のご案内

2010年から2015年に出版された『グローバル天理』の合本を頒布しています。これは各1年分(12号分)を1冊にまとめ、簡易製本したものです(頒価は200円)。

合本はご注文を受けて製本しておりますので、研究所事務室にお越しの際は、必ず事前に電話、FAX、もしくはEメールでご連絡ください。なお、郵送による頒布はできかねますので、ご了解ください。